

2020年度京都市立芸術大学大学院
美術研究科博士（後期）課程入学試験
〔英語共通問題〕

● 解答は全て解答用紙に書くこと。この問題用紙は試験終了後回収します。

A. 次の文章を読み、下線部(1)～(4)の内容をそれぞれ日本語で説明しなさい。

〔(1) 9点、(2) 6点、(3)、(4) 各 10点 計 35点〕

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

〔出典 Heid, Markham (2019) “Give Your Brain a Break: When Stress Starts to Eat at Your Memory” *The Science of Memory: The Story of Our Lives* (TIME Special Edition)〕

B. 次の文章の下線部(1)～(3)の内容をそれぞれ英語で表現しなさい。

〔(1)、(2) 各 9点、(3) 7点 計 25点〕

最近、友人が通う美術系大学の作品展を訪れた。ある絵の前で「これは何を表しているのだろう。」と考えていたら、そこに作者の学生がいて、「(1)一晩全く眠らずに、子供の頃の思い出のものを、思いつく限り描き続けました。」と説明してくれた。自分には到底無理だと思った。というのも、私は徹夜が苦手なのだ。(2)若い頃に一度試したが、昼間に強烈な眠気が襲ってきて仕事にならなかった。小説家をしていると、「(3)締め切り前は忙しくて、寝る時間もほとんどないのでしょーうね。」とよく言われるのだが、私の場合は、夜はたとえ少しでも寝る。

- C. 次に挙げるのは、Annette Leddy 氏による William Leavitt 氏へのインタビューからの抜粋である。空欄(1)～(10)に入れるのに適切な語句を選択肢から選び、記号で答えなさい。[各 4×10=40 点]

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

[出典 “In the Studio: William Leavitt” in *Art in America*, Sep. 2019. pp. 78-87.
New York: ArtNews Media, LLC.]

- 選択肢:
- (1) { (A) become (B) changed (C) lived (D) remained }
 - (2) { (A) because (B) so (C) though (D) unless }
 - (3) { (A) abundant (B) convenient (C) limited (D) plain }
 - (4) { (A) disjunct (B) independent (C) optional (D) related }
 - (5) { (A) boastfully (B) concomitantly (C) modestly (D) primarily }
 - (6) { (A) down (B) in (C) out (D) under }
 - (7) { (A) appearance (B) material (C) story (D) use }
 - (8) { (A) else (B) insignificant (C) similar (D) various }
 - (9) { (A) from (B) in (C) on (D) without }
 - (10) { (A) do (B) look (C) run (D) see }